



決め手は、青森県産。

りんご生産情報第11号
(9月16日～10月5日)

令和5年9月15日発表

青森県「攻めの農林水産業」推進本部



樹上選果マン

トキの収穫は適期に！
病虫害被害果が混入しないよう選別の徹底を！！
台風へ備え、風害対策を万全に!!!

I 概要

9月11日現在の果実肥大は、各品種とも平年並から平年を上回っている。

トキの収穫始めは黒石で平年より7日程度早い9月23日頃からと見込まれる。熟期が揃わないので、「収穫時の標準指標」を目安に「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」を利用して3回程度に分けてすぐりもぎを行う。

シンクイムシ類など病虫害被害果は健全果に混入しないよう徹底して選別する。

着色手入れや除袋の際に、肥大の劣る果実や形の悪い果実、病虫害被害果、さび果等の摘み取りを実施する。

台風や強風に備え、防風網の点検、補強などの風害対策をしっかりと行う。

報道機関用提供資料	
担当課	農林水産部りんご果樹課
担当者	生産振興グループ GM 小笠原 宜弘
電話番号	直通 017-734-9492 内線 5092
報道監	農林水産部 次長（農商工連携推進監）成田 澄人 内線 4966

II りんご生産情報

1 果実肥大、果実熟度、作業の進み

(1) 果実肥大

各品種とも平年並から平年を上回っている。

○果実肥大

(9月11日現在、横径cm、平年比%)

地域	年	つがる	ジョナゴールド	ふじ
黒石 (りんご研究所)	本年	9.3		8.0
	平年	8.9	-	8.0
	前年	9.2	-	8.4
	平年比	104		100
青森市浪岡北中野 (東青地域県民局)	本年	-		8.0
	平年	-	-	7.8
	前年	-	-	8.3
	平年比	-		103
弘前市独狐 (中南地域県民局)	本年	-	8.3	8.5
	平年	-	8.5	8.0
	前年	-	8.7	7.9
	平年比	-	98	106
板柳町五幾形 (西北地域県民局)	本年	-		9.1
	平年	-	-	8.0
	前年	-	-	8.2
	平年比	-		114
三戸町梅内 (三八地域県民局)	本年	-	8.6	8.5
	平年	-	8.4	7.8
	前年	-	8.6	8.0
	平年比	-	102	109

注) 各県民局のデータは農業普及振興室の生育観測ほ調査データ

(2) トキの果実熟度

9月13日現在、黒石では平年と比較して、表面色指数は高く、糖度は同程度、硬度はやや低く、酸度及びヨード反応指数は低い。総合的に見て、熟度は平年よりも進んでいると見込まれる。

○トキの熟度の進み

(調査月日：9月13日)

地域	年	果重 (g)	表面色 指数	硬度 (ポント)	糖度 (brix%)	酸度 (g/100ml)	ヨード反 応指数
黒石 (りんご 研究所)	本年	270	1.7	17.5	13.5	0.233	2.5
	平年	264	1.3	17.8	13.6	0.274	3.1
	前年	273	1.4	16.8	12.9	0.271	3.2

注1 平年：2013年～2022年の10か年平均

2 表面色指数：「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」指数1～6

3 ヨード反応指数：ヨードデンプン反応指数0～5(小さい数値ほどでんぷんが少ない)

(3) 作業等の進み（9月13日現在）

つがるの収穫はほぼ終了した。

中生品種の着色手入れ、摘果の見直しが行われている。

2 作業の重点

(1) 中生種の収穫

トキの収穫始めは黒石で平年より7日程度早い9月23日頃からと見込まれる。早生ふじの収穫始めも平年より7日程度早い9月24日頃からと見込まれる。

地域によって収穫適期が前後することから、最寄りの農協等の熟度調査結果を参考にする。

ア トキ

熟期が揃わないので、「トキの収穫時の標準指標」を目安に「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」を利用して3回程度に分けてすぐりもぎを行う。

1回目の収穫は表面色指数3～5の果実が全体の半量程度に達してから行い、指数4以上の果実を収穫する。2回目以降は指数4に達した果実を速やかに収穫する。指数5以上の果実は、貯蔵中に軟質化する場合があるので即売向けとする。

トキの収穫時の標準指標

硬度	糖度	ヨード反応	食味
14～15ポンド	14%以上	1.5以下	4以上（良好）

注) 食味：指数1（未熟）～5（非常に良好）

イ 早生ふじ

収穫時期が早すぎると糖度が低く、食味が劣る。遅すぎると果肉が軟化し、貯蔵力が低下するので、地色を見て2回くらいに分けて収穫する。

早生ふじの収穫時の標準指標

硬度	糖度	ヨード反応	食味
14～16ポンド	13%以上	2以下	3.5以上



▲「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」

【お問い合わせ先】

(公財) 青森県りんご協会
 電話 0172-27-6006

(2) 山選果の徹底

山選果は、十分な明るさの下で、果実全体を確認して行う。

各地で日焼け果やさび果の発生が見られるので、出荷先の基準により選別・出荷する。

シンクイムシ類の被害果を流通させないために、収穫した果実は徹底して選別する。

特にモモシンクイガによる、がくあ部付近の食入痕や滴痕を見逃さないように注意する。



図1 食入痕及び滴

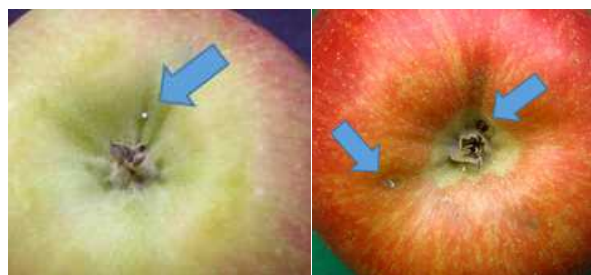


図2 白く乾燥した滴痕及び脱出痕



図3 脱出痕

(写真提供：(地独)青森県産業技術センターりんご研究所)

(3) 収穫した果実の管理

収穫した果実は、すみやかに冷蔵施設への搬入や出荷を行う。

(4) 中・晩生種の着色手入れ

日焼け果の発生防止のため、高温が続くと予想される場合は、葉摘みや徒長枝整理等の着色手入れは控える。

早くからの強い葉摘みは品質低下を招くので行わない。

除袋は、ジョナゴールドで9月25日頃まで、ふじで10月5日頃までに終える。

着色むらをなくすため、袋をはぐ時は、果実に密着している葉も摘み取る。

袋をはぐ時は、日焼けを発生させないため、曇天か晴天の日中(10時~14時)に行う。

着色手入れや除袋の際に、肥大の劣る果実や形の悪い果実、病虫害被害果等の摘み取りを実施する。

摘葉剤ジョンカラープロを使用する場合は、ふじのみとし、使用時期は「収穫40~50日前」とする。散布後30日間は収穫できないので注意する。

(5) 病虫害対策

ア 果実疫病(おそ疫病)

収穫用のかごや箱の土はあらかじめ洗い落としておく。

降雨時の収穫は行わない。やむを得ず収穫する場合は、果実に泥が付着しないように注意する。地面に落ちた果実は収穫した果実に混入しない。収穫した果実は長く野積みをしていない。

イ 炭疽病、輪紋病

被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

ウ 腐らん病

収穫時につる折れ、つる抜けとして残ったつるから病原菌が侵入するので、つるが果台に残らないように丁寧に収穫する。つるが残った場合は必ず果台から取り除く。

エ 黒星病

被害葉、被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

二次伸長葉に黒星病の発生が見られた場合は、来年の感染源となるので、必ず摘み取って処分する。

オ シンクイムシ類対策

被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

カ ハマキムシ類対策

発生が多い場合は、果実に密着している葉を摘み取る。

(6) 風害対策

台風の接近や強風に備え、防風網やわい性台樹の結束状況などを再度点検し、補強や取り替えを行う。

幹や主枝などに空洞が生じている樹や腐らん病の被害を受けた枝や樹は、支柱で支え、縄などで補強する。幼木は倒伏しやすいので支柱を立てて結束する。

(7) 鳥害対策

ムクドリ（サクラドリ）、ヒヨドリ、カラスなどの被害が大きいところでは、防鳥網を使用する。防鳥網の網目は35mm以下とする。

(8) 土壌乾燥対策

苗木や若木は乾燥の影響を受けやすいので、園地の状況を把握し、干天日（降水量5mm未満）が2週間程度続いたら、1㎡当たり200程度をかん水する。

また、草からの蒸散を防ぐため、草刈りをこまめに行い、樹冠下に敷き草する。

3 一般作業

- (1) 草刈り (2) 徒長枝整理、枝吊り、支柱入れ

4 今後の作業（10月6日～10月20日）

- (1) 中生種の収穫 (2) 晩生種の着色手入れ (3) 樹上選果
(4) 病虫害対策 (5) 風害対策 (6) 鳥害対策 (7) 野ネズミ対策

《 秋の農作業安全運動展開中！ 》

機械を使って作業を行う際は、焦らず、急がず、慎重に、を基本に事故のないよう十分注意しましょう。はしごの上で作業する時は、足場がしっかり安定しているか確認するとともに、天板の上には乗らないようにしましょう。園地に出かける際は、携帯電話を必ず持参し、家族などに行き先や帰宅時間を伝えてから出かけるようにしましょう。

《 「あおり9」の生果実流通 》

現在、「あおり9」は「彩香」の商標名で販売されていますが、令和7年10月27日で商標の使用契約が満了となり、「彩香」を使用できなくなります。

令和7年10月27日以降は、「あおり9」で販売してください。

《 農業保険に加入し、農業経営に万全の備えを!! 》

農業保険には、果樹共済、農業経営収入保険などがあります。自分の経営にあった保険を選択、加入して、自然災害をはじめとしたリスクに備えましょう。

詳しくは、お近くの農業共済組合まで、お問い合わせください。

農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認しましょう

○農林水産省「農薬登録情報提供システム」 (<https://pesticide.maff.go.jp/>)

農薬はりんご園以外、他の作物、近隣の住宅に飛散させないようにしましょう

園地を見回るなど、りんごの盗難に注意しましょう！

次回の発行は令和5年10月5日（木）の予定です。